

起業アイデア提案 高校生11組が最終発表



高校生が新会社の事業プランを発表した最終選考会＝7日午後、宇都宮市内

宇都宮市・アントレプレナーコンテスト
若い感覚で起業のアイデアを提案する「第2回とちぎアントレプレナーコンテスト」の最終選考会が7日、宇都宮市の護国会館で開か

れ、高校生11組が新会社の事業プランを発表した。

同コンテスト実行委員会（青木圭太委員長）が主催。自ら考え行動する力を持つ

た人材の育成を目的に、昨年からはじまった。これは、大学生、高校生らの個人、グループ（5人以内）から昨年を90件以上上回る206件の応募があり視察、資金調達、将来性などを基準に1、2次審査を実施した。最終選考会に残った11組は、すべて高校生。10分以内で起業内容を説明した後、審査員6人と質疑応答を行った。「音声付き絵本販売」をはじめ「おしゃれな医療器具製作」「樹木の複製会社」「市場に出ず海上で破壊される未利用魚の活用」など、いずれも現実性のある提案だった。結果公表と表彰式は3月7日、同市江野町の下野新聞ニュースカフェで行われる。

鹿沼高柴田さん 提案が最優秀賞

宇都宮 県内の高校・大学生らが若い感性と柔軟な発想で起業のアイデアを提案する「第2回とちぎアントレプレナーコンテスト」

ト（同実行委員会主催）の表彰式が7日、江野町の下野新聞NEWS CAFE（ニュースカフェ）で開かれた。鹿沼高2年柴田紗莉菜さんが提案した「Pier Project（ピアプロジェクト）」が最優秀賞に輝き、新会社開業資金として100万円が贈られた。写真。同コンテストは、次代を担う若者に起業を通して自



06組の応募があった。柴田さんは、機能を高めた近未来型の防犯ブザーを提案。「支えてくれたみんなと喜びを分かち合いたい。経営者になるという夢に一步近づけたと思う」と涙声で喜びを語った。今回新設された栃木インベシジョン賞、とちぎスマイル賞は、いずれも栃木県高2年生が受賞した。

ら考え行動する力を養ってもらうのが目的。今回は2